

環境のひろば

226号

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 守屋新一

題字 / 岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいにする運動”を推進するために配布しております。



支部だより

倉敷支部

ごみ減量について知ってもらうために

総社市環境衛生推進協議会

ごみ減量を広く呼び掛けるため、令和7年11月2日に高梁川河川敷で開催されたクリーン作戦に参加しました。総社市が開催したこのイベントでは、市民や周辺企業から約230の方が参加しました。参加者には記念品として水切り紙袋・水切りネット・エコバッグを配布しており、総社市環境衛生推進協議会も配布に協力しました。配布の場を活用して、記念品の目的や使用方法を説明しながら、ごみ減量のポイントを伝え、その重要性を啓発しました。生ごみの約7割は水分のため、捨てる前の「水切り」は重量を減らし、収集・焼却の負担軽減にもつながります。また、エコバッグは繰り返し使うことでレジ袋など使い捨てのプラスチックごみを抑え、資源の節約にも貢献します。今後もこのような機会を活かし、ごみ減量のための啓発活動を続けていきます。



支部だより

岡山市支部

環境問題を考えるきっかけに

岡山市環境衛生連合協議会

当協議会では小学生の夏休みの宿題を利用して、「おかやまりサイクル工作コンクール」を開催しております。今回で第24回となりました。

これは、身の回りの不用品を利用した工作を通じて、子どもたちの「ものを大切に作る心」と、不要だと思われるものから「新たにものを創り出す心」を育むなど、環境問題を考えるきっかけになればと思い、実施しているものです。

毎年いろんな工夫をした作品が出されており、今回は市内の小学校40校から総数676作品が提出され、優秀作品24作品を選出しました。

令和7年12月22日(月)、23日(火)に岡山市役所1F市民ホールで展示を行い、市役所を訪れた多くの市民の方々が児童の作品に見入り、優秀作品に選ばれた児童が、作品と一緒に記念写真を撮影していました。

また、テレビ局の取材もあり、ニュースでは展示の様子や受賞者の名前などが紹介されました。

展示の様子(岡山市役所1F市民ホール)



高梁支部

不法投棄の防止へ向けて

高梁市環境衛生協議会

高梁市環境衛生協議会では、各地域において河川や道路沿いの清掃活動を定期的に行い、環境美化に努めています。しかしながら、不法投棄の問題は今なお残っています。そのため当協議会では、環境美化等推進モデル事業を活用して不法投棄防止の看板を購入し、投棄リスクの高い場所に設置することで、抑止に取り組んでいます。

不法投棄されたごみは景観を損なうだけでなく、河川を通じて海へ流れ出し、深刻な海ごみ問題へと発展します。また、海ごみの多くは内陸部で発生した家庭ごみであることから、海に面していない高梁市においても、身近な問題として捉える必要があり、私たち一人ひとりが意識を変えていかなければなりません。

今後も看板設置やイベントを通じて啓発活動を行うとともに、引き続き地域住民と協力して清掃活動を実施し、不法投棄のないまちを目指してまいります。



勝英支部

村ぐるみで進めるクリーン作戦

西粟倉村環境衛生委員会

西粟倉村環境衛生委員会では、村の環境美化と環境衛生向上を目的に、継続的な活動を行っています。毎年4月には、環境衛生委員を中心に、村職員や村内の方など50名ほどが参加するクリーン作戦を実施しています。参加者は村内各地に分かれ、道路沿いを中心にごみ拾いを行い、回収したごみは分別のうえ適切に処理をします。活動中には不法投棄されたごみが見つかることもあり、これらも併せて回収・処理しています。本活動は、村の美しい景観を守るとともに、環境への意識を共有する大切な機会となっています。



東備支部

市内一斉清掃

赤磐市環境衛生推進協議会

赤磐市環境衛生推進協議会では、毎年9月の第1日曜日に「市内一斉清掃」を実施しています。市内一斉清掃は、自分たちの住む町を自分たちの手できれいにしようという気持ちを持つ多くの地区・町内会・清掃ボランティア団体の方に支えられ、今回で17回目となりました。市民の間では定例行事として定着し、子どもから高齢者まで、多くの方が積極的に清掃活動に参加しています。

今年度は、9月7日(日)の朝方に、市内各地区で道路や公園などに捨てられたごみを拾いました。指定の集積場所に持ち寄ったごみは、分別した後、行政が収集しました。

今後も環境美化や環境保全に対する意識がより一層高まるよう、市内一斉清掃の取組みを継続していきたいと思えます。



支部だより

津山支部

美しく豊かな景観と心の形成

津山市環境衛生推進委員会

美しいまち並みは、そこに暮らす人々はもちろんのこと、観光などで一時的に訪れる方々の心も気持ちよく、また豊かにし、より良い生活へ導いてくれるものです。

そこで、津山市環境衛生推進委員会では市や市内企業と連携し、町内会や子ども会などの各地域団体に向けて花やプランターを配布し、フラワーロードや花壇の設置を呼びかける「花いっぱい運動」を実施しております。

花と緑により「美しいまちづくり」の推進を図るとともに、花壇づくりを通して各地域におけるコミュニティの活性化を図ることで、心通う「豊かなまちづくり」の形成を目指しています。また、活動の一環として、花壇の美しさを競う「花いっぱいコンクール」を開催しており、令和7年度で40回目の開催となりました。

本取り組みには、毎年100団体を越える地域団体にご参加いただいております。今後も、多くの市民の方々や関係機関と共に、美しく豊かな街と心を作り続けていく所存であります。



環境大臣表彰者のご報告

令和7年10月16日(木)にフォレスト仙台で開催された第69回生活と環境全国大会の中で、環境大臣表彰（生活環境改善功労者）として県内の個人が表彰されましたのでご報告します。

この表彰者は、ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等の地域の環境美化等その他生活環境の改善を積極的に推進して顕著な成果を上げている地区又は個人に対して授与されるものです。

■生活環境改善功労者(個人)

- ・更谷 暢久（備前市環境衛生指導委員会）
- ・橋本 良雄（倉敷市環境衛生協議会）
- ・道繁 幸一（新見市環境衛生協議会）
- ・高見 春彦（倉敷市環境衛生協議会）
- ・梶房 澄男（倉敷市環境衛生協議会）
- ・久山 雅生（西大寺地区環境衛生協議会）

民間指導者研修会

当協会では毎年、県内3カ所で「民間指導者研修会」を開催しています。

環境保全や美化活動等に関する講演や各地域での活動事例の発表等を行い、環境衛生に関する専門知識を広めるとともに、参加者同士の情報交換の場となっており、各地区の環境衛生団体の役員が多数参加しました。

また、研修会に先立ち、環境衛生改善活動に多大な功績のあった団体や個人に対する岡山県各県民局長表彰の表彰式を行いました。

■研修会の主な内容

◎備前ブロック（開催地：備前市）

講演：「#再生備前」環境を守るためにビジネスを生み出そう！

講師：株式会社三石ハイセラム 代表取締役社長 牧 沙緒里氏

◎備中ブロック（開催地：早島町）

講演：地球温暖化の現状と家庭や地域でできる温暖化対策について

講師：環境カウンセラー・岡山県地球温暖化防止活動推進員 池田 満之氏

◎美作ブロック（開催地：真庭市）

講演：海ごみ問題と私たちの暮らし

講師：公益財団法人水島地域環境再生財団 理事 磯部 作氏



役員研修会（海洋ごみの現状と「里海」の再生を学ぶ―備前市日生で視察研修―）

当協会では、令和7年10月27日（月）、備前市日生の「ひなせうみラボ」において役員研修会を開催しました。この研修は、深刻化する海洋ごみ問題への理解を深め、今後の協会活動の質の向上と新たな取り組みへの動機付けとすることを目的としたものです。

当日は、専門スタッフから瀬戸内海における海洋ごみの実態や、豊かな海を育む環境保全活動の重要性について講義を受けました。また、施設内の視察を通じて、地域の環境学習の状況についても知見を深めました。

参加した役員からは、漂着ごみの多さに驚くとともに、日頃の清掃活動が海の環境保護に直結しているという意義を再確認したとの感想が聞かれました。今後もこの研修で得た知見を各地区の活動に還元し、岡山県の豊かな水環境を次世代へ引き継ぐ活動を力強く推進してまいります。



【研修の概要】

日時：令和7年10月27日（月）

場所：ひなせうみラボ（備前市日生町日生 3518-5）

内容：海洋ごみ問題に関する講義、施設見学意見交換



大気汚染情報お知らせメール

岡山県環境文化部環境管理課

日射が強く、気温が高くなると、大気汚染物質の1つである光化学オキシダントの濃度が高くなります。光化学オキシダントの濃度が高くなると、目や喉の痛みなどの健康被害が発生することがあるため、オキシダント注意報等を発令し、注意を呼びかけています。

健康被害防止のため、オキシダント注意報等の発令情報をタイムリーに入手できるメール配信サービスにぜひご登録ください。(登録作業は約1分)

■オキシダント注意報が発令されたら、どうすればいいの？

屋外での活動を控えるようにしてください。

また、症状が出たら安静にし、改善しないときは速やかに医師の診察を受けてください。

■光化学オキシダントについて、もっと知りたい時には？

光化学オキシダントについて解説した YouTube 動画 (約3分30秒) をご覧ください。



メール配信サービスの
登録はこちらから→



YouTube 動画はこちらから→



海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」

岡山県環境文化部循環型社会推進課

岡山県では、美しく恵み豊かな瀬戸内海を未来へと引き継いでいくため、河川や用水路等を通じて、瀬戸内海へ流入する生活ごみ等を削減することを目的に、海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」を展開しています。

県内各地で実施される活動（キャンペーン対象事業）について、順次紹介していきますので、お近くのイベントにご参加ください。

また、清掃ボランティア活動を実施する場合にあっては、本キャンペーンの一環として県ホームページに掲載させていただくほか、啓発資材（横断幕やのぼり旗）の貸出、回収したごみの処理費用の負担等について支援させていただきますので、市町村又は県循環型社会推進課にお問い合わせください。



キャンペーンロゴ



キャンペーン対象事業
(玉野市渋川海岸)



活動の様子
(用水路の清掃活動)



県ホームページ

わたしたちは環境関連事業を通して 社会の持続的発展に貢献します

- 資源循環事業
- 環境調査分析事業
- 環境学習・普及啓発事業



公益財団法人

岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1

TEL 086-298-2122

FAX 086-298-2496

有害な生物防除のプロ集団

カ・ハエ・ゴキブリ
ノミ・ねずみ・ハチ等の防除

一般社団法人

岡山県ペストコントロール協会

〒701-2155 岡山市北区中原551

電話 086-206-6464

キレイな水環境を守りましょう

岡山県環境整備事業協同組合

〒701-0202 岡山市南区山田 291-2

☎ (086) 282-6455

FAX (086) 282-6685

<https://okayamakankyo.com/>

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動等へのご支援をお願いします。

1口1万2千円で、1口から入会できます。希望される賛助会員の方は機関誌「環境のひろば」に広告（掲載料2万円）を掲載することができます。

岡山県環境衛生協会事務局(岡山県環境文化部循環型社会推進課内)

岡山県岡山市北区内山下2-4-6

TEL.086-226-7307 FAX.086-224-2271

「環境のひろば」は当協会のホームページにも掲載しています。

(<https://www.pref.okayama.jp/page/462962.html>)

お問合せ先